

WEEKLY REPORT

～ウィークリーレポート 2011-2012～

尾張中央ロータリークラブ

会長：沖野 満 承認日：1984年1月30日
幹事：熊澤勝則 例会日：毎週水曜日
会報委員長：山本正則 例会場：名鉄グランドホテル
事務局：アートスペース ヒラノ 2A
〒481-0038 北名古屋徳重土部56
TEL:0568(25)4701 FAX:0568(25)4702
URL: <http://www9.ocn.ne.jp/~owari-rc/>

2011-12年度 RIテーマ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 2011-12年度会長 カルヤン・バネルジー

家族月間

2011年12月21日 第1337回 例会
司会 会場委員長 松尾晋吉

点鐘 会長 沖野 満

唱和 ソングリーダー 野田 和正

「我等の生業」

来訪者紹介 副会長 瀧本 守

丹羽司一君(地区職業奉仕委員)

会長挨拶 会長 沖野 満



本日は今年度の最終例会です。お寒中大変多数の会員の皆様例会に出席していただきました事、感謝申し上げます。

12月10日(土)名鉄グランドにおいて年末家族会を開催出来た事、又大変多数の会員の家族の方々の参加を含めて、総勢75名の参加者があり、親睦委員会の努力のおかげだと思います。改めて親睦委員会に感謝申し上げます。大変お疲れ様でした。

12月12日(月)弥助寿司にて西尾張分区第2回会長・幹事会に出席してまいりました。内容については後程幹事の方から報告があると思いますが、2012年3月3日(土)会場は名鉄ニューグランドホテルにおいて、1M(分区大会)についてでした。時間は16:00～19:15までとなっております。全員登録ですので参加をよろしくお願いいたします。

本日はゲストとして地区職業奉仕委員会より丹羽司一君(長久手ロータリークラブ)をお招きいたしました。後程卓話をよろしく願います。

本日のお知らせ (1月11日)

第7回定例理事会(11:00)
クラブ・アッセンブリー
今月のお祝い

担当/会長、幹事
(ロータリー情報委員会)

(1338回)

次回のお知らせ (1月18日)

卓話「ロータリー研修会」

担当/地区R未来委員会

(1339回)

2011年7月に会長に就任し早6ヶ月を過ぎようとしています。その間諸事業、例会に出席していただいた事改めてお礼申し上げます。

さて、今年一年を振り返ってみますと今年もいろいろな事がありました。今年の10大ニュースを発表させていただきます。(読売オンライン)…インターネット調べ

- 1月 「タイガーマスク運動」広がる
- 〃 小沢民主党元代表を強制起訴
- 2月 大相撲で八百長発覚、春場所中止
- 〃 上野動物園にパンダ復活
- 〃 大学入試でネット悪用の不正発覚
- 3月 東日本大震災 死者・不明者 約2万人
- 〃 九州新幹線が全線開業
- 〃 スカイツリー「世界一」634mに到達
- 4月 統一地方選 都知事は石原氏4選
- 〃 焼肉店の生肉食中毒で5人死亡
- 5月 イージス艦衝突で海自2士官に無罪判決
- 〃 東京立川で国内最高額の6億円強奪
- 〃 日本のスパコンが世界一奪還(京)

- ” 小笠原諸島と平泉が世界遺産に
- 7月 サッカー「なでしこジャパン」世界一
- ” テレビ放送が地デジに移行
- 8月 島田紳助さん引退、暴力団との交際で
- 9月 新首相に野田佳彦氏
- ” 大型台風上陸が相次ぎ記録的被害
- ” 鉢呂経産相が不適切発言で辞任
- ” 光より速い？ニュートリノ観測
- 10月 円相場が戦後最高値
- 11月 オリンパス巨額損失隠し
- ” プロ野球日本一にソフトバンク
- ” 大王製紙前会長を特例背任容疑で逮捕
- ” 大阪ダブル選「都構想」で共闘の橋下氏が
大阪市長、松井氏が府知事に初当選

今年一年本当にありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。新しい一年が会員の皆様が更によりよい年でありますよう心からお祈りします。感謝。

出席報告

委員長 森川洋司

会員数：35名 出席数：25名 出席率：73.5%
第1335回(前々回) 修正出席率：85.2%

ニコボックス

委員長 吉田 透

- 沖野君 今年一年間、大変ありがとうございました。来年もよろしく願い致します。
- 熊澤君 本年度も早半分が過ぎました。色々有りましたが早いものです。地区職業奉仕委員長の丹羽司一氏をお迎えして。
- 住川君 一年間お世話になりました。
- 山下君 2011年の最終例会、欠席のおわび。
- 瀧本君 年末につき、業務多忙。
- 濱島君 家族会欠席のお詫び。皆さま良いお年を！
- 高柳君 1年過ぎるのは早いものです。来年もよろしく。
- 檜吉君 今年も一年間御世話になりました。
- 辻 君 家族会欠席のお詫び。
- 大野君 家族会でお世話になりました。
- 太田君 地区職業奉仕委員の丹羽氏をお迎えして。卓話楽しみにしています。
- 堀尾君 日本武道館矢沢永吉ライブ最高でした。今年も良い1年でした。来年もよろしく願いいたします。
- 松尾君 家族会の写真ありがとうございました。
- 野田君 今年も早いもので最終例会になりました。皆さんありがとうございました。来年もよろしく願い致します。

富田君 クリスマス家族会参加のお礼！皆様今年はいろいろお世話になりました。来年もよろしく願いいたします。

藤岡君 皆さん年末家族会おつかれ様でした。

鈴木君 親睦委員会の皆さん年末家族会おつかれ様でした。

第1337回(本日計)	50,000円
本日迄の累計額	952,000円

幹事報告

幹事 熊澤勝則

1. 次回の理事会、例会は名鉄グランドで行います。間違いの無い様お願いいたします。
2. 東日本大震災義援金について
10月度理事会の第1号議案で会員1人5000円で「財団積立金にて対応」する事で承認いただいた件、西尾張分区の会長・幹事会でこの件は保留とする事となりました。
3. ローターカードの入会の件
カード利用額の0.3%が東日本大震災の復興支援となります。申込用紙は事務局に有ります。インターネットでの申込みは、ロータリーカードで検索で開きます。
4. 事務局の年末年始の休の件
12月26日より1月5日迄となります。
5. バナー受取について
入会時受取していない方は事務局に有りますので連絡してください。

平成24年1月のお祝い

☆誕生日祝福

(会員)

1日 瀧本 守君 6日 赤堀博宣君
12日 毛利雅俊君 15日 沖野 満君
21日 森川洋司君

(会員夫人)

27日 辻 明江さん

☆在籍表彰

毛利雅俊君(14年)
野田和弘君(5年)
森川洋司君(5年)





職業奉仕について

第2760地区職業奉仕委員

丹羽 司一氏

最近のロータリーには「職業奉仕」をないがしろにしている風潮がないか。我々は「職業奉仕」に対する先人達の情熱を思い起こし、日常生活を通してロータリーの原点に生きようではないか。

『ロータリアンはいまこそ職業倫理を説き

実践するとき!』

「日本のロータリアンは、職業奉仕を大変熱心に説きますが、あまりやかましく言わないほうがいいと思う」という、R I 会長代理の言葉にもありましたように、年を追うごとにロータリーの原点とも言うべき「職業奉仕」が形骸化しているように、私にはみえます。」

それはR I が先頭に立って、国連や赤十字のような活動を行うようになったころから、どうやら、その傾向が躊躇になってきたように思います。

職業人の結社であるロータリークラブですから、年々歳々、繰り返し繰り返し、声を大にして訴え続けていかなければならないのが「職業奉仕」ではないでしょうか。ことに企業不祥事、職業犯罪が続出して、連日マスコミに衝撃的な報道があふれている昨今、「職業奉仕」という柱をきちんと掲げ、ロータリアンはいまこそ、「思いを尽くし、熱意を尽くし」職業倫理を説くべきでありましょう。

平成9年R I テーマの中に「職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう」という項目が設けられ、「職業奉仕」についてかなり詳しくふれています。

具体的に、

- 1) 質の高さで優位を求めましょう
- 2) 若い人が価値ある職業を選べるように指導しましょう
- 3) 若者達のために雇用の機会をみつけましょう
- 4) 誠実な仕事を称揚し、これに感謝いたしましょう
- 5) あなたのロータリー・プログラムと情報を強化し、専門職務の質を高めるために最新の技術を使いましょう

と五項目のメッセージを出しています。「職業奉仕」には、ロータリアンとしての高い倫理観や社会的責任感、そのための自己練成への要請が、第一に求められなければなりません。しかし近年次期ガバナーの重要な研修の場である、アナハイムの国際協議会では、「職業奉仕」という文言は残念ながらどこにも見当たりません。もっぱら会員増強、ボランティア活動、ロータリー財団、この三つに議題が絞られています。私たちは今まで常に「ロータリーは寄付団体ではない」、或いは「ロータリーは慈善団体ではない」という戒めを、幾度も幾度も聞かさ

れてきました。今のロータリーは、果たしてそう言えるのでしょうか。

『先人たちの「職業奉仕」への情熱を

受け継ごう！』

そこで、職業人たる我々ロータリアン自身の足元を見直そう、そういう意味で申し上げたいのです。

職業奉仕は難しい討論や紛糾する異論に包まれてきました。職業奉仕はまことに明快に、簡明に定義づけられるもので、誰もそれを誤解したり、忘れたりすることなどできないものです。それは我々がしなければならない、あれやこれやの事柄をさすのではなく、ロータリアンがいかにかに生きるかという生活態度 (Rotarian's way of life) であります。明快に定義づけて言うならば、「職業奉仕とは、我々はその職業において、または職業を通して、他人に幸福をもたらすことであり、他人に奉仕することである」(※繰り返す)

苦勞して覚えたり、把握したりしなければならぬことは、一つもないとおわかりでしょう……我々は自分の職業を通じてロータリーの奉仕をする義務からは、誰一人免除されません。我々は、この偉大なる運動の一員であります。

なぜでしょう……。

我々はその職業によって職業分類を与えられています。そしてロータリーは職業を通じて人々に奉仕することを要求しているからです。すべからく、この奉仕を完全無欠、公明正大に遂行すべきことをロータリーは要求している、ということです。

『あなたの言動は、他人を幸福にしているか！』

“いかに生きるかという生活態度”と“奉仕とは他人を幸福にすること”の二つの言葉を一語に集約すると、それは「あなたの言動は他人を幸福にしますか？」という問いで、すべてが尽くされます。それを計る物差しになるのが「四つのテスト」であります。ですから、これに背くような発言や行為を、日常生活のなかで平然と行っている人は「職業奉仕」が何であるか、到底おわかりにならない。いわんやロータリーを

論ずるなど、その資格は当然ないことになりましょう。職業奉仕とは、ロータリアン個人個人の「Way of life」なのであります。

「四つのテスト」とは、要するに「軽率なことをするな・いい加減なことをいうな・軽挙妄動をするな・自分の損得は抜きにして相手のことを先に考えよ」ということであります。これを突き詰めていくと、人格の問題に突き当たる。

ですから、「職業奉仕」とは「人格の練成・人づくりから出発する」という結論に達することになります。かつてロータリーをよく「成人教育の道場」と、言ったゆえんであります。

『常に誠を尽くすこと、

それが自分の幸せにつながる！』

しかしながら、現状はどうでしょう。ロータリーのリーダーともいべき方々の言動などを拝見するにつけ私には、どうも政治家のそれに似てきたように思えてなりません。人集めや資金集めに関心が高く、生活姿勢まで問われる「職業奉仕」を、あまり厳しく言われても困る、というのでは「ロータリーよ、どこへゆく」と思わざるをえないのであります。

とまれ、ロータリーの標語なんぞ、やかましいことを言わなくとも、もっと簡明な人生法則、「幸せになりたいと思うなら、まず人を喜ばせることを考えたまえ」という、この言葉に集約されると思います。「あの人と知り合えてよかった。あの人と商売させてもらえてよかった。あの店で食事をして楽しかった」などなど、常にそう思い、そう思われるようなロータリアンでありたいものです。よく論じられる「超我の奉仕」とは何かを、くどくど思案するよりも、まずこのように考え、そして実践することだと思えます。

「誠を尽くすということが、何を意味するか、自分のために考えてみること」が自分自身の幸になる、いちばんの近道なのであります。この簡単な原理を知れば、職業奉仕とは「Way of life」であり、自分の生活姿勢にほかならないことが、すぐに理解できると思えます。これこそが、ロータリーの原点であると思えます。